

「三次地域密着型サービス事業所 連絡会」の取組について

三次市高齢者福祉課介護保険係



本日のお話

- 1 三次市の概要
- 2 取組の概要
- 3 取組の経緯
- 4 実施体制
- 5 活動実績
- 6 成果および今後の展望



1 三次市の概要



- 人口 51,131人(令和3年1月末現在)
- 高齢者人口 18,378人(令和3年1月末現在)
- 高齢化率 35.9%(令和3年1月末現在)
- 地域包括支援センター 1箇所(委託)
- 第1号被保険者数 18,305人(令和2年12月末現在)
- 要介護認定者数 4,346人(令和2年12月末現在)
- 要介護認定認定率 23.7%(令和2年12月末現在)



2 取組の概要



平成28年度，市の主催で，市内の地域密着型サービス事業所の意見交換会を開催したことをきっかけとし，平成29年度には，事業所が主体的に運営する「三次地域密着型サービス事業所連絡会」の発足につながった。

発足後，定期的に事業所間の相互交流・情報交換・合同研修等，積極的な互助的活動を展開している。

3 取組の経緯①



○平成28年度

地域密着型サービス事業所のサービスの質の向上や人材育成等につなげるきっかけづくりとして、意見交換会をサービス種別で開催（市主催）

- ◆認知症対応型共同生活介護事業所 9事業所
（以下「グループホーム」）
- ◆小規模多機能型居宅介護事業所 8事業所
（以下「小規模多機能」）
- ◆通所介護事業所 13事業所

取組の経緯②



○平成29年度

・サービス種別の意見交換会開催【市主催】

→各サービス別の連絡会発足

(グループホーム・小規模多機能)

平成30年2月

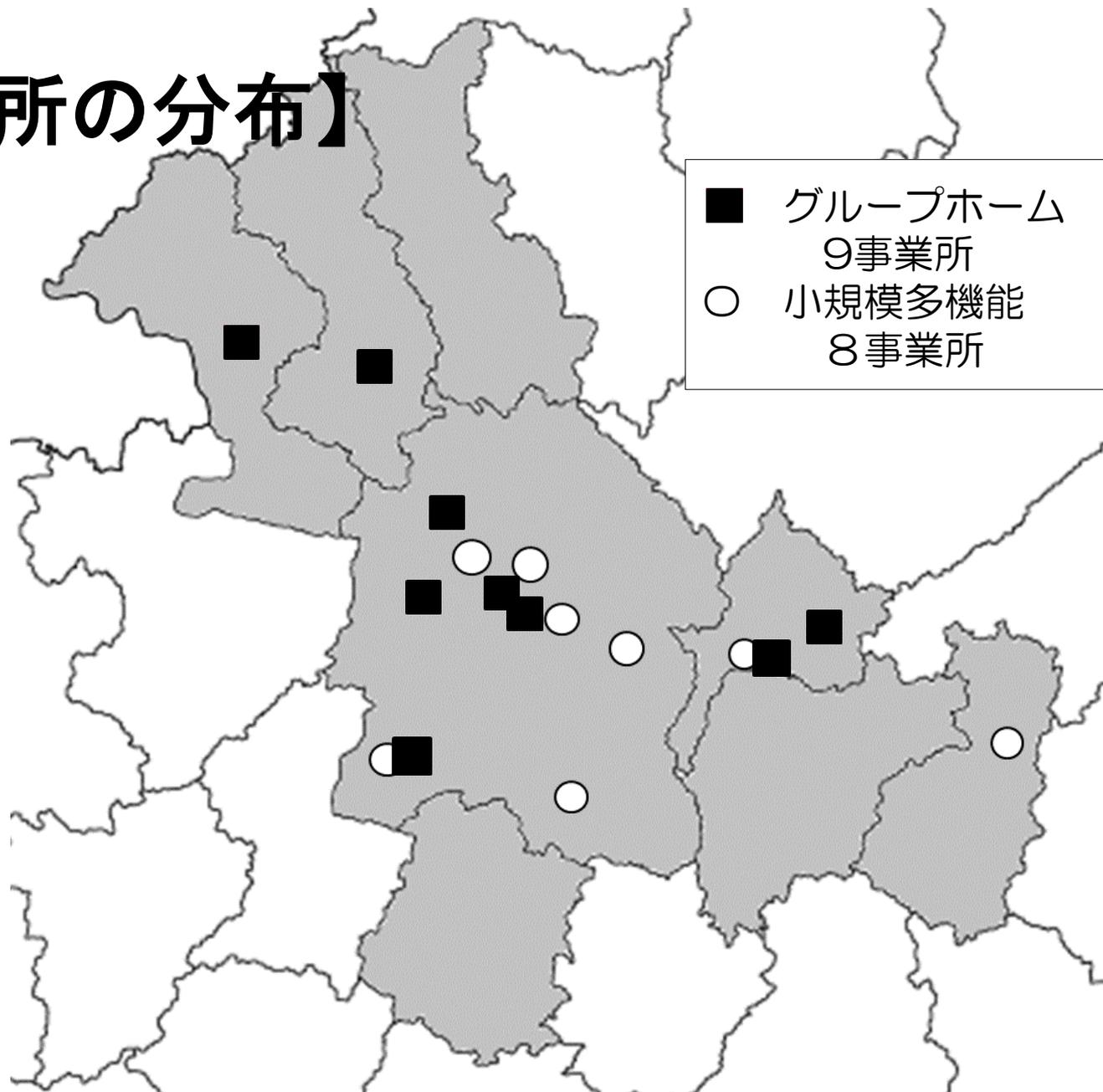
グループホーム・小規模多機能が、合同で連絡会を開催【事業所主催】

○平成30年度(5月)

「三次地域密着型サービス事業所連絡会」

発足 ※発足記念講演会開催(11月)

【事業所の分布】



4 実施体制①



「三次地域密着型サービス事業所連絡会」

◆認知症対応型共同生活介護事業所

: 9事業所

◆小規模多機能型居宅介護事業所

: 8事業所

◆事務局: 代表事業所

※ 三次市高齢者福祉課・

三次市地域包括支援センターは
情報提供・共有事項等がある場合
参加



実施体制②



【目的】

事業所間の相互交流・情報交換・合同研修を行い、相互に連携をとることにより、スキルアップ及び三次市の福祉の向上に寄与すること。

【運営体制】

- ・代表者
- ・世話人 6名(グループホーム・小規模から各3事業所)
- ・会計 ・事務局 ・監査

【運営費用】

1事業所 年会費5,000円

実施体制③



【運営方法】

連絡会の開催については、事務局を中心に、代表者・世話人と調整して開催。

- ・開催日：2か月に1回（第3金曜日 午後）
- ・場 所：市役所会議室
- ・参加者：各事業所管理者等
- ・内 容：①全体による報告・情報共有等
（市や地域包括支援センターも参加）
②サービス種別に分かれての連絡会
※小規模多機能のケアマネジャーの参集
による意見交換会も行う

【市の関与】

必要な情報提供，運営への助言，会場提供，広報

5 活動実績①



○発足記念講演会開催（平成30年11月）

講演会・懇親会（162人参加）

○合同研修会

（年間計画にて、研修担当を全事業所でグループ分けし企画・運営を行う）

- ・リーダー研修・交流会
- ・認知症への理解
- ・介護の基本（座学・実技）
- ・事例研究会
- ・リスク管理研修



活動実績②



- 施設見学受入(事業所相互の人事交流)
事前に見学・見学受入について情報を登録し
その情報を基に、相互において調整・実施
- 現場の介護職等による交流会(懇親会等)
- 三次市認知症対策連絡会議への参画
地域密着型サービス事業所の代表として、
連絡会から互選により、代表者及びワーキング
メンバーとして参加

6 成果および今後の展望①



参加者の声

同じサービスの事業所同士、顔が見え、話のできる関係ができ、日常業務の中でのちょっとした連絡や情報交換が気軽にできるようになった。

いざというときに他事業所との連携や協力体制ができたことは、運営上も心強い。

今は一堂に会しての連絡会ができないが、ネットワークができていますので、電話やメール等で課題について全体での意見交換ができる。

○事業所間のネットワーク構築につながった

- ・情報共有のしやすさ
- ・運営上の協力体制(緊急対応・空床状況)
- ・有事の連携体制

⇒互助によるサービスの体制・質の向上

成果および今後の展望②



参加者の声

遠くに行かなくても、近くで勉強や情報交換ができるようになって良かった。

他の事業所に見学に行かせてもらうことができ、参考になる取組が多くあり、良いことは取り入れたい、と刺激を受けた。

近くに同じような立場で同じ若い世代の人がたくさん頑張っていることがわかり、知り合いにもなれて、共に頑張ろうと思った。

○職員のスキルアップにつながる環境の整備

○職員のモチベーションアップの機会となっている

⇒ 互助によるサービスの体制・質の向上

＋ 人材確保・定着への期待

おわりに

- ❁「この住み慣れた地域で しあわせを実感しながら住み続けられるまち みよし」の実現に向け、地域密着型サービスの体制維持や質の向上を図ることは必要。
- ❁従来、各事業所がそれぞれ努力し、公的機関も各事業所に対しての必要な支援は行ってきた(自助・公助)。
- ❁今回、「三次地域密着型サービス事業所連絡会」の取組をふり返り、改めて、同じ地域の事業所が手をつないでお互いに高め合うしくみ(互助)の重要性を確認した。
- ❁今後も無理のない運営の継続ができるよう、側面よりサポートを行い、長期的には、この取組の「人材確保・育成・定着」への効果の検証につなげたい。

